

※1 起動操作中の出力が低い領域のため、予測値よりも十分に余裕がある。

図1 最小限界出力比の推移

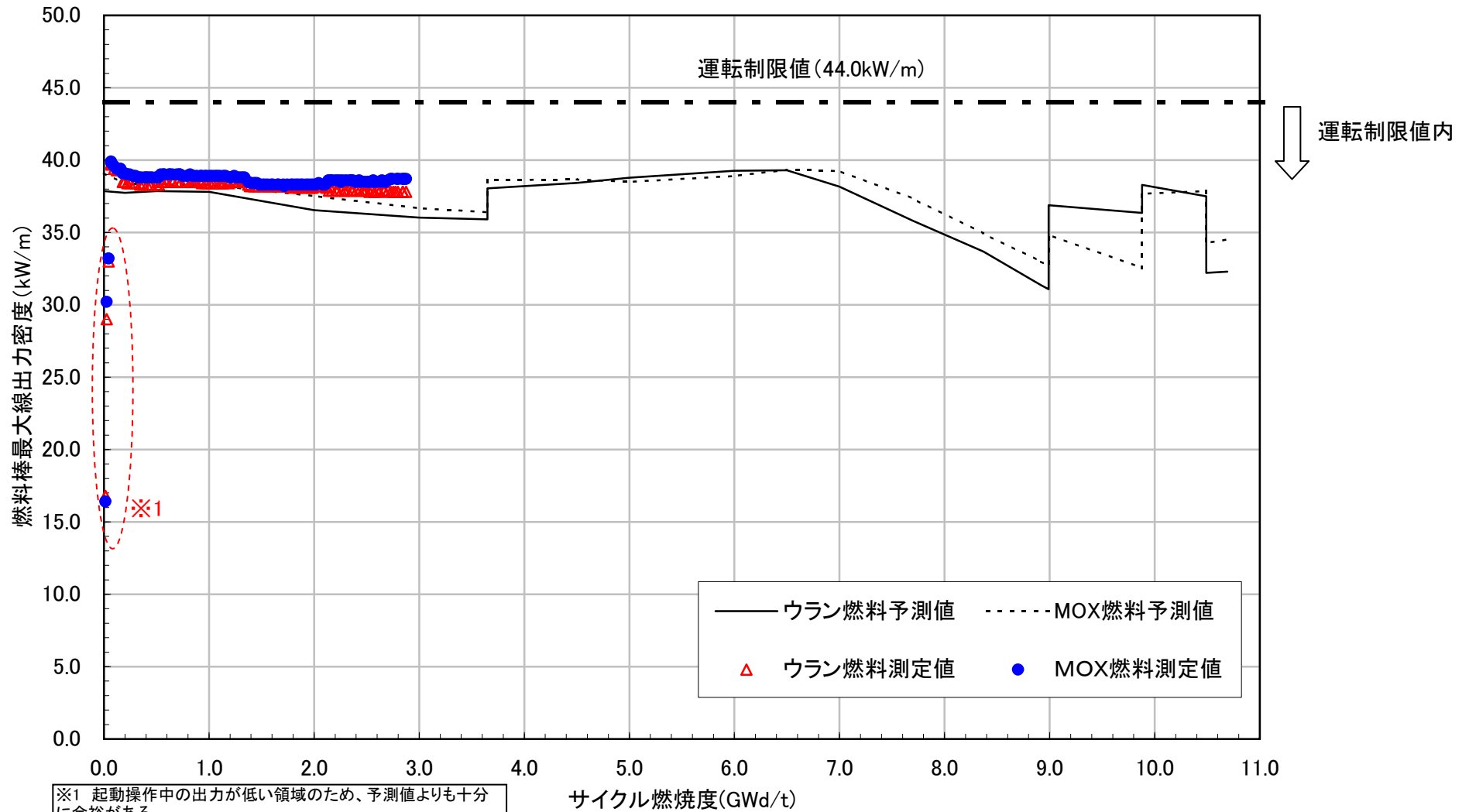


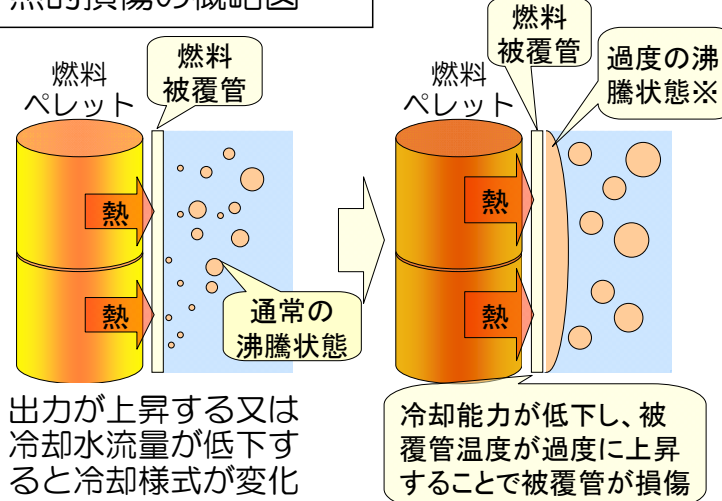
図2 燃料棒最大線出力密度の推移

# 図1 最小限界出力比

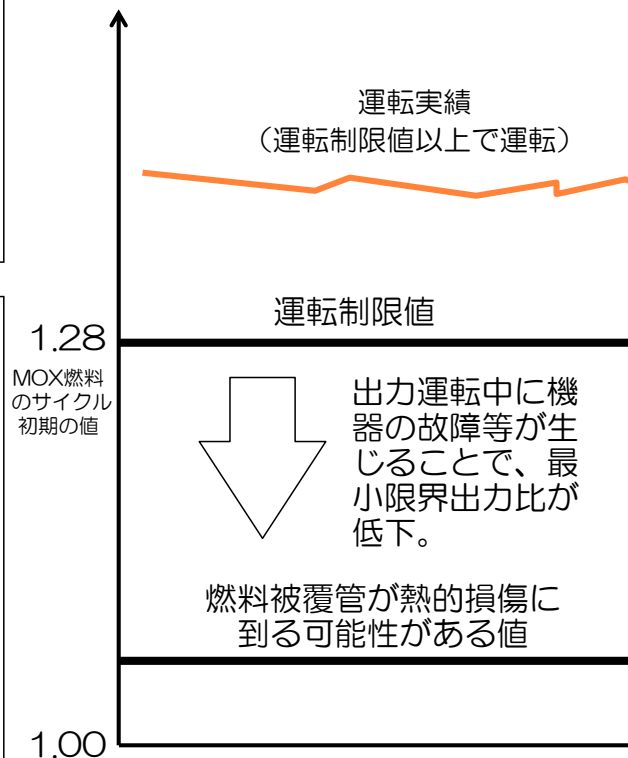
最小限界出力比の定義：

運転制限値内であれば、出力運転中に機器の故障等により生じる異常な事象が起きた場合にも、燃料ペレットを収める金属製のさや（燃料被覆管）が冷却不足により熱的に損傷することがないように定めた指標

熱的損傷の概略図



最小限界出力比



※燃料被覆管表面の水がなくなり、蒸気で覆われることで伝熱効率が低下した状態

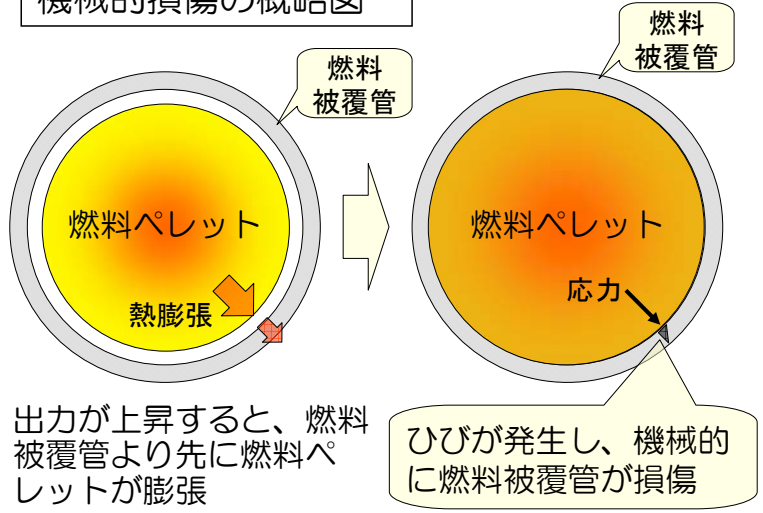


# 図2 燃料棒最大線出力密度

燃料棒最大線出力密度の定義：

運転制限値内であれば、出力運転中に機器の故障等により生じる異常な事象が起きた場合にも、燃料ペレットを収める金属製のさや（燃料被覆管）が機械的に損傷することがないように定めた指標

機械的損傷の概略図



燃料棒最大線出力密度 (kW/m)

